ユニティ10周年 シンポジウム 概要

「これからの大学連携について考えるー大学連携の未来を探る」

1. 日時 平成20年9月27日(土) 14時45分～16時
2. 場所 兵庫県立大学(神戸学園都市キャンパス 三木記念講堂)
3. パネリスト 矢田 立郎(神戸市長)
村元 四郎(神戸商工会議所議員・(社)神戸市機械金属工業会会長)
西谷 春治(学園都市連絡会議代表)
阪本 靖郎(兵庫県立大学副学長)
コーディネーター
齊木 崇人(神戸芸術工科大学学長)

4. 内容のあらまし

ユニティのこれまでの10年間の活動を振り返り、次へのステップを考える趣旨でシンポジウムが開催されました。

行政、産業界、地域、ユニティの各立場からのご意見に基づきながらコーディネーターにより進行され、とりまとめが行われました。

まずそれぞれのパネリストから、これまでのユニティの活動、ユニティ誕生前の神戸市の大学連携の思い、企業側からはユニティをどう見ているか、ユニティと地元の地域コミュニティ、そしてユニティ加盟大学との関係などについて語っていただきました。

続いて、ユニティの今後の進路との関連で、ユニバーサル型大学と大学連携の関係、産学連携でユニティに期待されること、ユニティと地域社会、神戸市から見たユニティへの期待などについてのフリートークが行われました。

最後にコーディネーターにより概略次のようにとりまとめが行われました。

- (1) ユニティの連携は、必ずしも今の5大学1高専だけに固定せずに、大学や今の地域を超え、さらにはアジアなど世界の大学との間における連携もあり得る。したがって、大学連携、地域連携、産学連携に国際連携を加えた4つのテーマを、同時にこれから展開していくことになる。
- (2) ユニティの各加盟大学はそれぞれ独自の個性をより明確に発揮していくことが求められている。これは、大学の質をより上げていくことが求められていることにもつながる。したがって、ユニティには、加盟大学が輩出する人材の質を卒業後も継続的に向上させていくような仕掛けが求められてくる。
- (3) あわせて地域との関係でユニティ・大学側は、活力ある仕事を生み出しながら地域社会からの要求により効率よく応えていくことが求められている。
- (4) これからのユニティの活動では、「ユニバーサル型大学の実現」が、実現ベースで今後キーワードになる。

なお、このシンポジウムの内容についてインターネット等で情報発信を行う。

(以上 詳しくは、シンポジウム議事録をご覧ください。)